機能水ニュースレター　　No. 132

2026 年 7 月 10 日発行　一般財団法人機能水研究振興財団　編集担当　堀田国元・中藤誉子

協力：日本機能水学会・(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021　東京都品川区上大崎 2-20-8　Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: kinousui-zaidan@fwf.or.jp　　ホームページ:　http://www.fwf.or.jp

報告：　ifia/HFE JAPAN 2026 1

お知らせ：東京農業大学食品安全研究センター研究会 2026 年度講演 . . 2

生物安全実践講習会第 8 回実践コース B. 3

第 53 回日本防菌防黴学会年次大会 4

日本機能水学会第 24 回学術大会 5

迅速検査研究会：特別講座・検査実習 6

機能水関連カレンダー

生物安全実践講習会第 8 回 B コース	2026 年 8 月 26・27 日(水・木)	ニプロ iMEP(滋賀県草津市)
第 53 回日本防菌防黴学会年次大会	2026 年 9 月 8・9 日(火・水)	きゅりあん(品川区立総合区民会館)
日本機能水学会第 24 回学術大会	2026 年 11 月 7・8 日(土・日)	京都鉄道博物館(京都市)

＜報告＞　　ifia JAPAN 2026

食品化学新聞社の主催で、2026 年 5 月 27～29 日（水～金)、東京ビッグサイト西ホールで開催された。例年通り、（一財）機能水研究振興財団と（一社）日本電解水協会は協力して出展・講演を企画実施した。

5 月 27 日（水）午後、食の安全・科学セッション「次亜塩素酸水（電解水）の近未来展望」において「食品業界における次亜塩素酸水（電解水）の利用／効果とその評価」をテーマとして以下の講演が行われ、大盛況であった。

基調講演：　次亜塩素酸水の近未来展望　　(一財)機能水研究振興財団　堀田國元　理事長

講演 1：　食物アレルゲン除去における各種次亜塩素酸水への期待　愛知文教女子短期大学 渡辺香織教授

講演 2：　ノロウイルス食中毒ゼロに向けた電解水の使用条件設定アイデア
～ノロウイルス不活化試験キットの紹介～”（株プロテックス　須賀新太郎　氏

講演 3：　ヒスタミンの迅速検査　　キッコーマンバイオケミファ（株）　橋本康平　氏

講演 4：　アレルゲン管理を見える化できる！簡易検査キットの紹介　㈱森永生科学研究所 菅村茉莉佳 氏





＜お知らせ＞　　東京農業大学食品安全研究センター研究会 2026 年度講演会



東京農業大学
食品安全研究センター研究会
2026年度講演会

テーマ

食品安全に用いることが可能な機能水について

～食品業界における次亜塩素酸水（電解水）の利用／効果とその評価～

FSRC

開催日時：2026年7月14日（火）　15:00～16:20　（開場14:00）

15:00～15:40：講演会　15:40～16:20：質疑応答

開　催　地：東京農業大学世田谷キャンパス　国際センター　横本ホール

〒156-8502　東京都世田谷桜丘1-1-1

【東京農大世田谷キャンパスへのアクセス】

会場とLive配信のハイブリッド方式で開催致します。

【プログラム】

■15:00～15:40　講演会

テーマ：「食品安全に用いることが可能な機能水について」

～食品業界における次亜塩素酸水（電解水）の利用／効果とその評価～

・機能水とは何か　　・食品添加物指定機能水（＝次亜塩素酸水）の認可条件

・生成装置の標準化　　・食品安全への利活用状況と展望

講 演 者：　一般財団法人機能水研究振興財団　理事長　堀田国元先生

■15:40～16:20　質疑応答

※参加費：無料（参加には、申込が必要となります。）

申込先

FSRC研究会会員の方：https://forms.gle/2vwPvQ9LRrVP58yg6

一般の方：https://forms.gle/4trHyhjmepBQRwEh6

主催：東京農業大学　食品安全研究センター

〒156-8502　東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農大8号館

TEL 03-5477-2632　　Mail:fsrc@nodai.ac.jp

（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター・（一財）機能水研究振興財団 共催

生物安全実践講習会

第８回 実践コースＢ

日程：令和8年 8月26・27日（水・木） 2日間（各日9:00～17:00）

会場：医療研修施設「ニプロiMEP」 https://www.nipro.co.jp/corporate/imep/

［アクセス］JR南草津駅（京都駅より新快速17分）より徒歩約3分

内容：病原体の取扱い・管理のために必要な法令を含めた先進的知識と技術に関する座学と実習

受講料　：1名 35,000円 （テキスト事前配布）

申込方法：生物安全実践講習会ホームページ「開催案内」より

<https://kinousui-zaidan.wixsite.com/seibutuanzen >

事務局　：生物安全実践講習会事務局（ pbf@fwf.or.jp）



【予定プログラム概要】

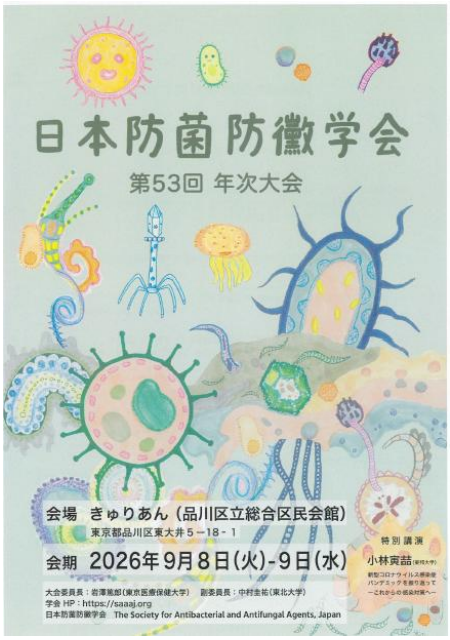
	区分	題目	座学講師・実習指導者
座学	講習会概要		堀田 国元　（一財）機能水研究振興財団 理事長
	座学１	感染制御概論Ⅰ-細菌・真菌-	鈴木 陽一 大阪医科薬科大学医学部生物安全実験研究室　教授
	座学２	感染制御概論Ⅱ-ウイルス-	呉 成旭 （公財）ルイ・パストゥール医学研究センター主任研究員
	座学３	病原体の消毒・殺菌および滅菌	高木 弘隆 （公財）ルイ・パストゥール医学研究センター 副センター長
	座学４	One Health からみた 薬剤耐性菌の現状と課題	浅井 鉄夫 岐阜大学大学院連合獣医学研究科 教授
	座学5	医薬品製造における 安全対策とGMP	佐々木 次雄 元国立感染症研究所細菌第二部 室長
	座学6	遺伝子組換え生物等の 利用と安全対策	辻井 栄作 京都大学総合研究推進本部研究インテグリティ部門
	座学7	遺伝子関連検査と安全対策	林 邦彦 （株）池田理化 / PCR感染症検査研究会
	特別講演	エアロゾル感染の概念と エアロゾル感染する病原体	藤田 直久 京都岡本記念病院感染症科部長 （元京都府保健環境研究所所長）
実習	実習1	衛生的手洗い	恒川 良太郎　ニプロ（株）
	実習2	個人防護具（PPE）の着脱	アゼアス(株)
	実習3	病原体の輸送（梱包・開梱） および安全対策	伊木 繁雄 JIHS国立感染症研究所安全管理研究センター 主任研究官 鹿住 祐子　元結核予防会結核研究所抗酸菌部結核菌情報科 霜島 正浩　（株）スギヤマゲン
	実習4	遺伝子関連検査の基本操作と 安全対策	林 邦彦　（株）池田理化 / PCR感染症検査研究会 坂倉康彦　元ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
	実習5	安全キャビネットの構造と管理他	関口 勝美　越川和彦　(株)アルバーネット

日本防菌防黴学会第 53 回年次大会

https://saaaj.org/#meeting

会期： 2026 年 9 月 8 日（火）～9 日（水）
会場： きゅりあん（品川区立総合区民会館：品川区東大井 5-18-1）、JR 京浜東北線大井町駅すぐ
大会委員長・副委員長： 岩澤 篤郎 先生（東京医療保健大学）・中村 圭祐 先生（東北大学）
参加申込： 事前なし、大会当日受付。

防菌・防黴・抗ウイルスを共通テーマに、食品、医療、環境、材料、建築、衛生管理など幅広い分野の研究者・技術者が集う学際的な年次大会



パネルディスカッション　ﾃｰﾏ／高齢者施設等における感染対策の現状と課題解決に向けて

●9 月 8 日（火）　13:00～16:00　（A 会場　8 階　大ホール）
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ： 菊地原紀裕（シーバイエス(株)）・岡上　晃（(一財）北里環境科学センター）
菊野理津子　（(一財）北里環境科学センター）

1PD-Ap01 高齢者福祉施設の概要と学会が関与する意義（仮）（5 分）
菊野理津子（一財)北里環境科学センター）

1PD-Ap02 新興再興感染症への日頃からの備え　―高齢者施設はどうする？－（30 分）
岡部　信彦（川崎市健康福祉局 健康安全研究所）

1PD-Ap03 空調・換気設備、室内空気環境の現状(仮)（30 分）
開原　典子（国立医療科学院 建築・施設管理研究部）

1PD-Ap04 高齢者施設における空調設備の現状(仮)（20 分）
清水 晋（(一社)日本空調システムクリーニング協会）

1PD-Ap05 高齢者施設における生活用水のレジオネラ汚染（20 分）
堀井　孝志（レジオネラ対策センター）

1PD-Ap06　高齢者施設等の感染対策の取組み―業種比較から見えてきた課題―（20 分）
河野　香（花王プロフェッショナル・サービス(株)）

1PD-Ap07　インフラに依存しすぎない感染対策の在り方：宿主側の脆弱性を克服するケアの力（仮）（20 分）
吉田　智（サラヤ(株)）

日本機能水学会第 24 回学術大会

※第 28 回日本口腔機能水学会学術大会との合同開催

テーマ：　水滴石穿　～たしかな未来のためのわずかな一歩～

小さな積み重ねをひとつひとつクリアすること。そのための手間は惜しまないこと、1 つの失敗から 10 も 20 も次につながるキッカケを拾うことを続けての今であり、また新たな治験が見えてきての「次」なのです。機能水も然り。機器が同じであったとしても、使う場所やヒトによって様々なシチュエーションが展開し、手間であっても一つ一つに対応することが次につながり、社会的信頼を少しずつ得られてゆくのではないでしょうか？　今回のテーマはそんな思いからの願い、と感じていただければ幸いです。

大会長：　日本機能水学会　　髙木弘隆先生　（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター

日本口腔機能水学会　　井上一彦先生　日本口腔機能水学会学会長

会期；　2026 年 11 月 7・8 日（土・日）

会場：　京都鉄道博物館３F ホール（下記案内マップ参照）

アクセス：JR 嵯峨野線「梅小路京都西駅」徒歩 2 分、「京都駅」20 分

収容人数：　対面方式、100 名程度、

参加登録：　すべて事前登録　会員 7 千円、非会員 1 万 1 千円　※参加証で京都鉄道博物館入館可

※参加申込は、機能水学会 HP から

技術交流会：　一律 6 千円（すべて事前登録）　申込は、機能水学会 HP から

※最新情報は、日本機能水学会 HP にて随時更新

＜会場案内図＞





迅速検査研究会

第3回 食品微生物検査のための培地学 特別講座

■日　時： 2026年8月6日（木）10時～17時
■会　場： 一般財団法人東京顕微鏡院・豊海研究所（東京都中央区豊海町5-1）
■受講費： 会員5,000円、一般10,000円 （不課税、テキスト代・昼食代込み）
※受講費は当日、会場にて申し受けます（事前振込を希望される方は"お問い合わせ欄"に記載下さい）
■定　員： 24 名
※定員に達し次第、締め切ります ※参加者には修了証を発行します
※専門的な解説が含まれるので、受講者は微生物検査に携わっている実務者に限定します

【申込等】 https://jinsokukensa.com/toukukou.html

迅速検査実習「HACCP導入へ向けた迅速検査実習」のお知らせ

本実習は、HACCPや一般衛生管理の検査で使用される簡便・迅速な衛生検査キット／資材に実際に触れ、その簡便性や使い勝手の良さを体感できる「体験型実習」です。

第16回 HACCP導入へ向けた迅速検査実習

■主　催　迅速検査研究会
■日　時　2026年8月21日(金)　10時～17時（受付開始　9時30分～）（予定）
■会　場　東京顕微鏡院豊海研究所 （東京都中央区豊海町5−1 豊海センタービル 4F）
■定　員　24名（先着順、最低催行人数：12名）
※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。
※申込多数の場合は、企業・団体の検査担当者の方を優先させていただく場合があります。
※学生の方もお申し込みも可能です。
■受講費　会員5,000円、一般10,000円（不課税、テキスト代・昼食代を含む）

【申込等】 https://jinsokukensa.com/jisyu.html



ATP・迅速検査研究会 創立 15 周年記念誌

「現場のための ATP ふき取り検査マニュアル」
基礎から応用まで

編集：ATP・迅速検査研究会 編集
監修：伊藤武（一財）東京顕微鏡院 学術顧問

第１章　ATP ふき取り検査の原理と応用～食品分野から環境管理全般～

第２章　ATP ふき取り検査活用事例集

1.ATP ふき取り検査　活用手順書・入門編
2.１カ月で成果が出るＡＴＰふき取り検査入門～SSOP 確立のための活用マニュアル～
3.ATP ふき取り検査　活用手順書・実践編(巡回指導編)

第３章　ATP ふき取り検査 Q&A 集

1.ATP ふき取り検査とは　2.全般的な Q&A　3.基準値についての Q&A

第４章　ATP ふき取り検査検定(愛称：ATP 検定)　問題編、解答・解説編

価格：１冊 2,000 円＋送料 370 円（３冊まで、４冊以上実費）